

【災害レジリエンス No.1 の実現】

大規模災害を想定した事前防災の推進

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークの構築

群馬県では、山間部を中心に道路の事前通行規制区間や大雪時の予防的通行規制区間が多く存在します。また、浅間山付近などでは、火山災害警戒地域が存在するなど、災害時の脆弱区間が広範囲に存在しています。これら災害時の脆弱区間においては、幹線道路などのミッシングリンクの解消やネットワークの多重性・代替性を高めることが重要となります。

また、大規模災害時における、孤立集落の発生リスクを軽減するため、落石対策、土砂災害対策や橋梁の耐震化等を重点的にを行い、迅速かつ円滑な避難や救命救助活動、復旧・復興活動を可能にするとともに、無電柱化の推進や道の駅などの防災拠点の整備・強化を図るなど、災害時にも機能する強靱な道路ネットワークの構築を推進します。

(1) 孤立集落の発生リスクを軽減する強靱な道路ネットワークの構築

大規模災害時における孤立集落のリスクを軽減させるため、落石対策、土砂災害対策や橋梁の耐震化などを重点的に推進し、広域道路などへのアクセスを確保します。

(2) 防災・物流拠点集積エリア間を結ぶ強靱な道路ネットワークの構築

広域的な救命救助活動、被災地への支援物資輸送や経済活動の継続性を確保するため、防災拠点や物流拠点が集積する防災・物流拠点集積エリア間を連携する強靱な道路ネットワークを構築します。

(3) 防災・物流拠点集積エリア内の主要拠点を結ぶ強靱な道路ネットワークの構築

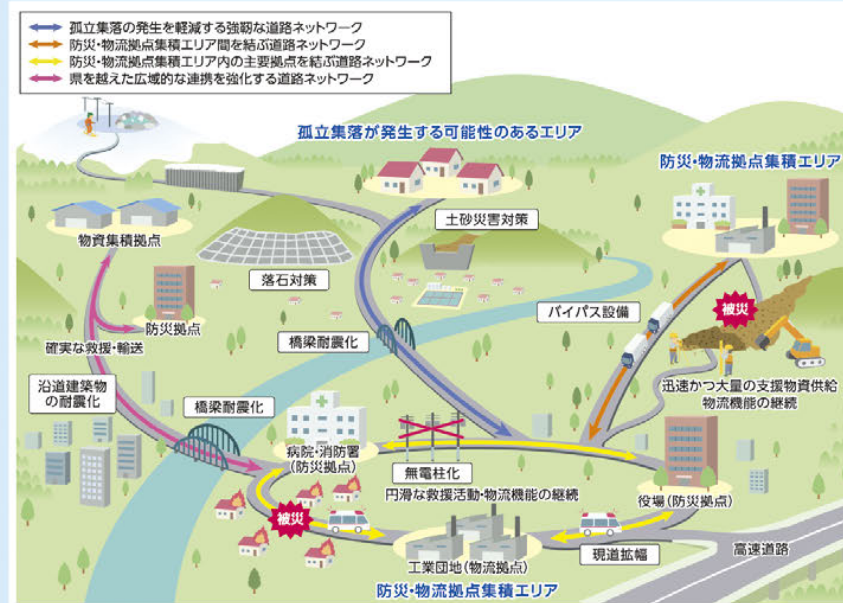
防災・物流拠点集積エリア内における早期の救命救助活動や被災地への支援物資輸送を可能にするとともに、企業の経済活動の継続性を確保するため、主要拠点(役所・病院・消防・自衛隊、大型倉庫等)間を結ぶ強靱な道路ネットワークを構築します。

(4) 県を越えた広域的な連携を強化する強靱な道路ネットワークの構築

県内外の防災・物流拠点を結ぶ緊急輸送道路の寸断に直結する落石及び落橋等のリスクを軽減することで、強靱な広域道路ネットワークを構築します。

(5) 道の駅における防災拠点機能の強化

大規模災害時の避難住民の受け入れや被災地を支援する活動拠点としての防災機能に加え、広域的な復旧・復興活動の拠点としての機能を備えた「防災道の駅」の設置に向け、国、県、市町村の連携により、ハード・ソフトが一体となった防災拠点機能の強化を促進します。



能登半島地震を踏まえた新たな視点

孤立対策を推進します！

・土石流、がけ崩れ、落石などから道路を保全

